

広報

おだわら

No. 400

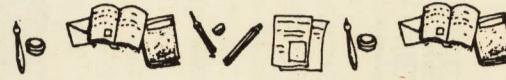
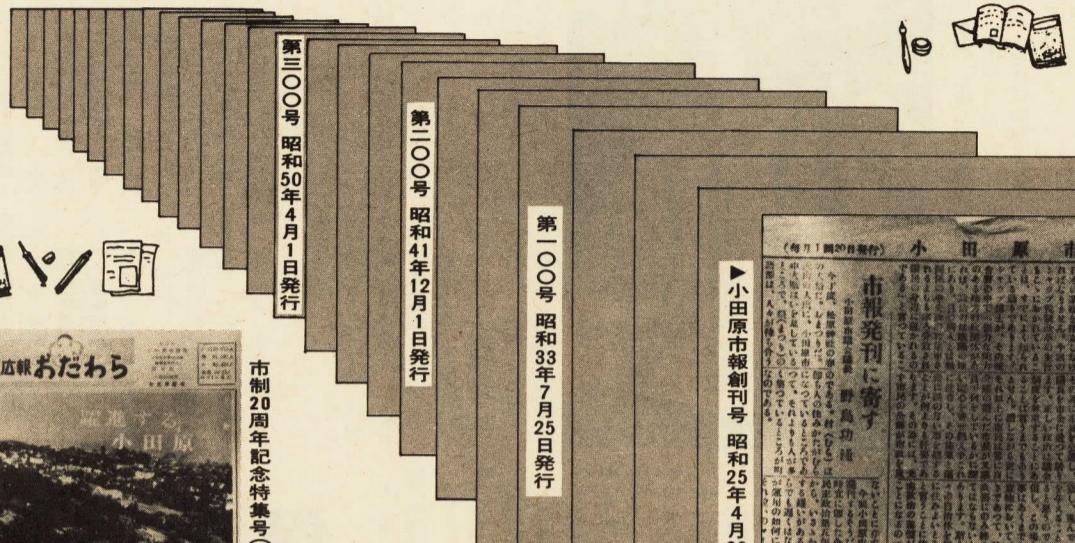
昭和 58 年

8月

発行 小田原市役所 〒250 小田原市荻窪300番地

編集広報課 印刷 文化堂印刷(株)

人口 181,877 世帯数 54,241 (7月1日現在)



「広報おだわら」が400号を迎えたました

市民のみなさんのお手元に、毎月お届けしています。「広報おだわら」が、

本市の歴史を刻んで 四百号に

昭和二十五年四月に「小田原市報（広報おだわらの前身）」として創刊され以来、八月一日号で通算四百号となりました。

「広報おだわら」はこの四百号に至るまでの三十三年の間、市民のみなさんと市を結ぶ大切なパイプ役を果たしてきましたが、その一ページ、一ページには、小田原市の発展の歴史が刻み込まれています。

今回四百号の発刊に当たり、これを一つの契機として、より一層みなさんに親しまれる広報、役立つ広報づくりに努めていきたいと思いますので、みなさんのご理解ご協力をお願いします。

市では、市民のみなさんに市お届けしている本紙「広報おだわら」ではないかと思います。

この「広報おだわら」も、昭和二十五年に創刊以來、今月号をはじめ、回覧やポスター、テレビ放送、新聞などによれば、毎月一回発行している広報紙をはじめ、できるだけ多くの情報をはじめ、できるだけ多くの情報を

お届けするように努めています。

また、市内二十五地区の広報委員会の委員長にお集まりい

ただき毎月開催している広報委員長会議や、市民の方を対象と

した公共施設見学会などを通じて、市政への理解と关心も深め

ていただいている。

こうしたなかで、市民のみなさんにとって、最も身近で最も

なじみの深いのは、毎月各自治

会を通じてみなさんのお手元に

に変え、現在に至っています。

「小田原市報」が発行された当

初は、タブロイド版二ページで

したが、その後掲載事項が増え

正しようというものです。

国々での開発を促し、世界のこ

ミュニケーションの不均衡を是

正しようというものです。

時代の流れにそつて、広報紙

の掲載記事やスタイルも変わ

ってきましたが、「広報おだわら

」という題字も「小田原市報」の

時代を通して、何回か変わりま

したので、その流れを見てみま

題字の 変わり

その後、昭和二十五年五月一

日号から名称を「広報おだわら」

に変え、また、発行日をそれま

での二十九日発行から一日発行

しました。

その後、昭和二十五年五月一

日号から名称を「広報おだわら」

に変え、また、発行日をそれま

での二十九日発行から一日発行

しました。

この決議のねらいは、開発途

行十周年を迎えた昭和二十五年

四月二十日に「小田原市報（広

報おだわらの前身）」として誕生

しました。

その後、昭和二十五年五月一

日号から名称を「広報おだわら」

に変え、また、発行日をそれま

での二十九日発行から一日発行

しました。

この決議のねらいは、開発途

行十周年を迎えた昭和二十五年

四月二十日に「小田原市報（広

報おだわらの前身）」として誕生

しました。

その後、昭和二十五年五月一

日号から名称を「広報おだわら」

に変え、また、発行日をそれま

での二十九日発行から一日発行

しました。

この決議のねらいは、開発途

行十周年を迎えた昭和二十五年

四月二十日に「小田原市報（広

報おだわらの前身）」として誕生

しました。

その後、昭和二十五年五月一

日号から名称を「広報おだわら」

に変え、また、発行日をそれま

での二十九日発行から一日発行

しました。

この決議のねらいは、開発途

行十周年を迎えた昭和二十五年

四月二十日に「小田原市報（広

報おだわらの前身）」として誕生

しました。

その後、昭和二十五年五月一

日号から名称を「広報おだわら」

に変え、また、発行日をそれま

での二十九日発行から一日発行

しました。

この決議のねらいは、開発途

行十周年を迎えた昭和二十五年

四月二十日に「小田原市報（広

報おだわらの前身）」として誕生

しました。

その後、昭和二十五年五月一

日号から名称を「広報おだわら」

に変え、また、発行日をそれま

での二十九日発行から一日発行

しました。

この決議のねらいは、開発途

行十周年を迎えた昭和二十五年

四月二十日に「小田原市報（広

報おだわらの前身）」として誕生

しました。

その後、昭和二十五年五月一

日号から名称を「広報おだわら」

に変え、また、発行日をそれま

での二十九日発行から一日発行

しました。

この決議のねらいは、開発途

行十周年を迎えた昭和二十五年

四月二十日に「小田原市報（広

報おだわらの前身）」として誕生

しました。

その後、昭和二十五年五月一

日号から名称を「広報おだわら」

に変え、また、発行日をそれま

での二十九日発行から一日発行

しました。

この決議のねらいは、開発途

行十周年を迎えた昭和二十五年

四月二十日に「小田原市報（広

報おだわらの前身）」として誕生

しました。

その後、昭和二十五年五月一

日号から名称を「広報おだわら」

に変え、また、発行日をそれま

での二十九日発行から一日発行

しました。

この決議のねらいは、開発途

行十周年を迎えた昭和二十五年

四月二十日に「小田原市報（広

報おだわらの前身）」として誕生

しました。

その後、昭和二十五年五月一

日号から名称を「広報おだわら」

に変え、また、発行日をそれま

での二十九日発行から一日発行

しました。

この決議のねらいは、開発途

行十周年を迎えた昭和二十五年

四月二十日に「小田原市報（広

報おだわらの前身）」として誕生

しました。

その後、昭和二十五年五月一

日号から名称を「広報おだわら」

に変え、また、発行日をそれま

での二十九日発行から一日発行

しました。

この決議のねらいは、開発途

行十周年を迎えた昭和二十五年

四月二十日に「小田原市報（広

報おだわらの前身）」として誕生

しました。

その後、昭和二十五年五月一

日号から名称を「広報おだわら」

に変え、また、発行日をそれま

での二十九日発行から一日発行

しました。

この決議のねらいは、開発途

行十周年を迎えた昭和二十五年

四月二十日に「小田原市報（広

報おだわらの前身）」として誕生

しました。

その後、昭和二十五年五月一

日号から名称を「広報おだわら」

に変え、また、発行日をそれま

での二十九日発行から一日発行

<

9月20日

小田原城薪能

午後5時30分 天守閣広場で開催



午後5時30分

天守閣広場で開催

このたび演じられる薪能は、舞台が城をバックにしていることから、武士たちが演じた方法を採り入れ、武家式樂の雰囲気を出すもので、すでに姫路大坂では演じられていますが、関東では、初めてのものです。

語をついたながら、笛・太鼓・太鼓の樂器から成る囃子に合わせて演じる薪能は、みな

さんを夢幻の世界に誘い込むでしょう。

六百年に及ぶ歴史を持つ伝統、薪能を、みなさん、ぜひご覧ください。

◆ 日 時 9月二十日(火) 午後四時三十分開場

◆ 申込方法 千人

◆ 観覧料 無料

◆ 一般入場者(申込当選者)

◆ 能「小袖曾我」 観世流師範 津村礼次郎

◆ 大藏流狂言方 山本則直

◆ 狂言「青葉練」 観世流師範 中森晶三

◆ 応募者抽選日と場所 九月一日(木) 午後二時 小田原市荻津三〇〇番地

◆ 開催事務局 原語曲連合会・小田原青年会

◆ 取人の住所・氏名を記入して申込み多数の場合は、抽選により入場者を決めます。

◆ 申込期間 八月十八日(木) から八月二十七日(土) (当日の消印有効)

◆ 申込方法 申込書類(職員課、市役所総合案内、各支所及び連絡所)を提出する

◆ 申込料 無料

◆ 申込受付期間 九月十二日(月)～九月二十一日(火)

◆ 申込料 無料

◆ 申込方法 申込書類(職員課、市役所総合案内、各支所及び連絡所)を提出する

◆ 申込料 無料

◆ 申込受付期間 九月二十二日(水)～九月二十一日(火)

◆ 申込方法 申込書類(職員課、市役所総合案内、各支所及び連絡所)を提出する

◆ 申込料 無料

◆ 申込受付期間 九月二十二日(水)～九月二十一日(火)

◆ 申込方法 申込書類(職員課、市役所総合案内、各支所及び連絡所)を提出する

◆ 申込料 無料

◆ 申込受付期間 九月二十二日(水)～九月二十一日(火)

◆ 申込方法 申込書類(職員課、市役所総合案内、各支所及び連絡所)を提出する

◆ 申込料 無料

◆ 申込受付期間 九月二十二日(水)～九月二十一日(火)

◆ 申込方法 申込書類(職員課、市役所総合案内、各支所及び連絡所)を提出する

◆ 申込料 無料

◆ 申込受付期間 九月二十二日(水)～九月二十一日(火)

◆ 申込方法 申込書類(職員課、市役所総合案内、各支所及び連絡所)を提出する

◆ 申込料 無料

◆ 申込受付期間 九月二十二日(水)～九月二十一日(火)

◆ 申込方法 申込書類(職員課、市役所総合案内、各支所及び連絡所)を提出する

◆ 申込料 無料

◆ 申込受付期間 九月二十二日(水)～九月二十一日(火)

◆ 申込方法 申込書類(職員課、市役所総合案内、各支所及び連絡所)を提出する

◆ 申込料 無料

◆ 申込受付期間 九月二十二日(水)～九月二十一日(火)

◆ 申込方法 申込書類(職員課、市役所総合案内、各支所及び連絡所)を提出する

◆ 申込料 無料

◆ 申込受付期間 九月二十二日(水)～九月二十一日(火)

◆ 申込方法 申込書類(職員課、市役所総合案内、各支所及び連絡所)を提出する

◆ 申込料 無料

◆ 申込受付期間 九月二十二日(水)～九月二十一日(火)

◆ 申込方法 申込書類(職員課、市役所総合案内、各支所及び連絡所)を提出する

◆ 申込料 無料

◆ 申込受付期間 九月二十二日(水)～九月二十一日(火)

◆ 申込方法 申込書類(職員課、市役所総合案内、各支所及び連絡所)を提出する

◆ 申込料 無料

◆ 申込受付期間 九月二十二日(水)～九月二十一日(火)

◆ 申込方法 申込書類(職員課、市役所総合案内、各支所及び連絡所)を提出する

◆ 申込料 無料

◆ 申込受付期間 九月二十二日(水)～九月二十一日(火)

◆ 申込方法 申込書類(職員課、市役所総合案内、各支所及び連絡所)を提出する

◆ 申込料 無料

◆ 申込受付期間 九月二十二日(水)～九月二十一日(火)

◆ 申込方法 申込書類(職員課、市役所総合案内、各支所及び連絡所)を提出する

◆ 申込料 無料

◆ 申込受付期間 九月二十二日(水)～九月二十一日(火)

◆ 申込方法 申込書類(職員課、市役所総合案内、各支所及び連絡所)を提出する

◆ 申込料 無料

◆ 申込受付期間 九月二十二日(水)～九月二十一日(火)

◆ 申込方法 申込書類(職員課、市役所総合案内、各支所及び連絡所)を提出する

◆ 申込料 無料

◆ 申込受付期間 九月二十二日(水)～九月二十一日(火)

◆ 申込方法 申込書類(職員課、市役所総合案内、各支所及び連絡所)を提出する

◆ 申込料 無料

◆ 申込受付期間 九月二十二日(水)～九月二十一日(火)

◆ 申込方法 申込書類(職員課、市役所総合案内、各支所及び連絡所)を提出する

◆ 申込料 無料

◆ 申込受付期間 九月二十二日(水)～九月二十一日(火)

◆ 申込方法 申込書類(職員課、市役所総合案内、各支所及び連絡所)を提出する

◆ 申込料 無料

◆ 申込受付期間 九月二十二日(水)～九月二十一日(火)

◆ 申込方法 申込書類(職員課、市役所総合案内、各支所及び連絡所)を提出する

◆ 申込料 無料

◆ 申込受付期間 九月二十二日(水)～九月二十一日(火)

◆ 申込方法 申込書類(職員課、市役所総合案内、各支所及び連絡所)を提出する

◆ 申込料 無料

◆ 申込受付期間 九月二十二日(水)～九月二十一日(火)

◆ 申込方法 申込書類(職員課、市役所総合案内、各支所及び連絡所)を提出する

◆ 申込料 無料

◆ 申込受付期間 九月二十二日(水)～九月二十一日(火)

◆ 申込方法 申込書類(職員課、市役所総合案内、各支所及び連絡所)を提出する

◆ 申込料 無料

◆ 申込受付期間 九月二十二日(水)～九月二十一日(火)

◆ 申込方法 申込書類(職員課、市役所総合案内、各支所及び連絡所)を提出する

◆ 申込料 無料

◆ 申込受付期間 九月二十二日(水)～九月二十一日(火)

◆ 申込方法 申込書類(職員課、市役所総合案内、各支所及び連絡所)を提出する

◆ 申込料 無料

◆ 申込受付期間 九月二十二日(水)～九月二十一日(火)

◆ 申込方法 申込書類(職員課、市役所総合案内、各支所及び連絡所)を提出する

◆ 申込料 無料

◆ 申込受付期間 九月二十二日(水)～九月二十一日(火)

◆ 申込方法 申込書類(職員課、市役所総合案内、各支所及び連絡所)を提出する

◆ 申込料 無料

◆ 申込受付期間 九月二十二日(水)～九月二十一日(火)

◆ 申込方法 申込書類(職員課、市役所総合案内、各支所及び連絡所)を提出する

◆ 申込料 無料

◆ 申込受付期間 九月二十二日(水)～九月二十一日(火)

◆ 申込方法 申込書類(職員課、市役所総合案内、各支所及び連絡所)を提出する

◆ 申込料 無料

◆ 申込受付期間 九月二十二日(水)～九月二十一日(火)

◆ 申込方法 申込書類(職員課、市役所総合案内、各支所及び連絡所)を提出する

◆ 申込料 無料

◆ 申込受付期間 九月二十二日(水)～九月二十一日(火)

◆ 申込方法 申込書類(職員課、市役所総合案内、各支所及び連絡所)を提出する

◆ 申込料 無料

◆ 申込受付期間 九月二十二日(水)～九月二十一日(火)

◆ 申込方法 申込書類(職員課、市役所総合案内、各支所及び連絡所)を提出する

◆ 申込料 無料

◆ 申込受付期間 九月二十二日(水)～九月二十一日(火)

◆ 申込方法 申込書類(職員課、市役所総合案内、各支所及び連絡所)を提出する

◆ 申込料 無料

◆ 申込受付期間 九月二十二日(水)～九月二十一日(火)

◆ 申込方法 申込書類(職員課、市役所総合案内、各支所及び連絡所)を提出する

◆ 申込料 無料

◆ 申込受付期間 九月二十二日(水)～九月二十一日(火)

◆ 申込方法 申込書類(職員課、市役所総合案内、各支所及び連絡所)を提出する

◆ 申込料 無料

◆ 申込受付期間 九月二十二日(水)～九月二十一日(火)

◆ 申込方法 申込書類(職員課、市役所総合案内、各支所及び連絡所)を提出する

事業所統計調査 異動調査にご協力を

総理府統計局では、全国のすべての事業所を対象として調査を行なう事業所統計調査の中間年に事業所の異動に関する調査を実施しています。

事業所統計調査は、産業構造や事業所の地域分布を明らかにするだけでなく、事業所を対象とする各種の統計調査の基礎資料になるもので、国や都道府県、市町村の行政や経済施策に広く利用されています。

総理府では、この事業所統計調査をはじめ、各種統計調査を円滑にし、調査結果の精度を高めるために、調査の中間年の事業所の新設や転業などの変動状況を把握して事業所に関する基礎資料の整備を行うことにしました。

今年は八月から九月にかけて調査を行ないます。期間中に調査員がお伺いするかまたは、市の統計担当員が電話で、事業内容や従業員数などの変動状況を調査しますので、ご協力をお願いします。

◆第一部(小学校)・二年生
所で、昨年七月一日から今年四月三十日までの間に改廃な

いします。
なお、この調査の対象となる事業所は次のとおりです。

◆問い合わせ
行政課 統計係 電話⑨1-2
95

◆第二部(小学校)・四年生
所で、昨年七月一日から今年四月三十日までの間に改廃な

いします。
なお、この調査の対象となる事業所は次のとおりです。

◆問い合わせ
行政課 統計係 電話⑨1-2
95

◆受付場所
社会福祉センター
四階第二講堂

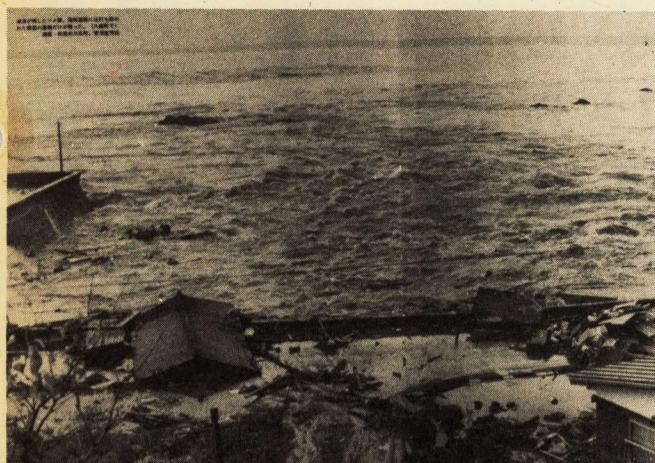
◆問い合わせ
社会福祉センター
電話⑨3-225

◆問い合わせ
社会課務係
電話⑨1-863

◆問い合わせ

津波災害を防ごう

津波についてご存知ですか？



日本海中部地震の津波の被害(秋田魁新報社「秋田沖大地震」より)

津波の予報 津波は、気象庁が地震発生後、二十分以内に発令されることになります。その種類は、津波注意報、津

津波の速さは、地震が発生する位置、海の深さによって変りますが、一八九四年から一九七〇年までの七十七年間の分析によると二千㍍以上の津波は、北関東以西では五分から二十分の間で押し寄せています。

五月二十六日に発生した、日本海中部地震は、震源域が海底マグニチュード六・七以上である。津波が起こる最小の規模は、マグニチュード六・七以上であります。津波の被害が生ずるようなら、津波の被害が生ずるようになりますと、時速約五百㍍くらいのスピードで押し寄せたことになります。

AMERICAN TELEGRAPH AND TELEPHONE COMPANY

津波という言葉は、TSUNAMIといふ萬国共通語となつてゐます。

津波の大きさと

津波の発生

津波の速度

波 や被生て以減震 加

九月一日に行われる小田原市本
総合防災訓練は、東海地震に係
る警戒宣言発令に伴う予知対応、
訓練、東海地震の発生を想定と
して、地震災害警戒本部の設置、
避難対策実施要員の参集、応急な
く、救援物資の運搬、及び、自衛隊の

総合防災訓練実施

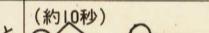
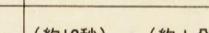
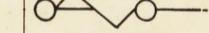
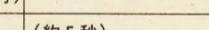
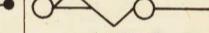
昨年五月、内閣の閣議で毎年六月一日を「防災の日」とし、この日を含む一週間を「防災週間」と定めることになりました。今年も、八月三十日(火)から九月五日(月)までが「防災週間」となり、この期間中、国、地方公共団体、その他民間で、各種の防災行事を行うことになり、本市でも、防災訓練、講演会などを実施する予定です。

防災訓練

講演会などを実施

8/30~9/5

保険健康課

予報の種類	予 報 文	標 識	
		鐘 音	サイレン音
津波注意報	津波の襲来するおそれはありません。	—	—
	津波があるかも知れません。津波の高さは高いところでも数十センチメートル程度の見込みです。	●●●● (3点と2点との班打)	(約10秒)  (約2秒)
	津波の心配はなくなりました。	●●●●	(約10秒) (約1分)  ...
	津波の危険はなくなりました。	(1点2個と2点との班打)	(約3秒) 
津波警報	津波が予想されます。予想される津波の高さは、高いところで約2メートルに達する見込みですから、特に津波が大きくなりやすいところでは警戒を要します。その他のところでは数十センチメートル程度の見込みです。	●●●●● (2点)	(約5秒)  (約6秒)
	大津波が来襲します。予想される津波の高さは、高いところで約3メートル以上に達する見込みですから、今までに津波の被害を受けたようなところや、特に津波が大きくなりやすいところでは、厳重な警戒を要します。 その他のところも1メートル位に達する見込みですから警戒が必要です。	●●●● (連点)	(約3秒)  (約2秒) (短声連点)

関西の千葉県の高額負担金の支払いが困難な世帯の世帯主なお、保険料を滞納してないことを条件とします。

○貸付金 高額療養費として支給される額（九割相当額）

◆持参するもの

○医療機関が発行する診療費の請求書またはこれにかかる証明書（保険診療と一般診療の区別ができるもの）

○被保険者証 ○印鑑

◆問い合わせ 保険健康課庶務係 電話③1845

◆受診方法

申込みのあった方に「子宮がん検診のお知らせ（昭和五十八年九月分受診券）」のはがきを郵送しますので、はがきと保険証を持って直接医療機関へおいでください。

老人保健制度に該当する方は医療受給者証も必ず持参してください。

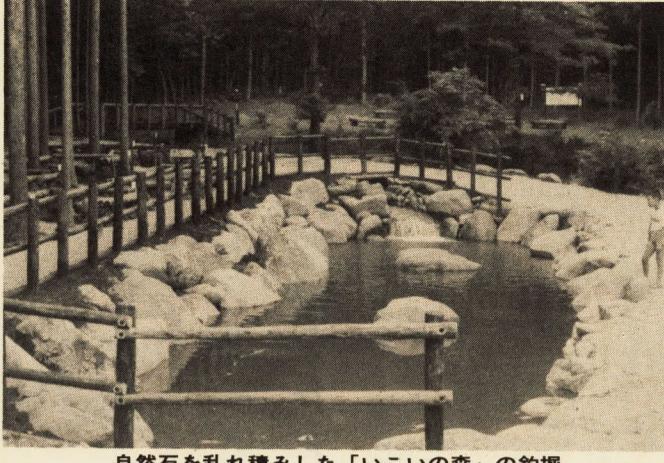
◆受診料

千円（一部受診者負担金）

◆担当 予防係 ③18458

インディアカ

第2回大会を開催します



自然石を乱れ積みした「いこいの森」の釣堀

参 加 し ま し よ う

マス釣りを楽しむ会

先月の二十七日、「いこいの森」いたごと、家族連れなどを対象に次のとおりマス釣りを楽しむ会を開きます。みなさんご参加ください。

バーベキュー場近くの坊所川に釣堀が完成しました。

自然の中でマス釣りを楽しんでください。

◆日時 八月十三日(土)、九月十一日(日)、二十五日(日)

◆定員 三十人

◆参加費 釣りざお一本に付き一千円(マス匹、えさ代を含む)

◆申込み 八月十六日(火)から三匹以上釣った場合は時価で三匹以内は定員になります。

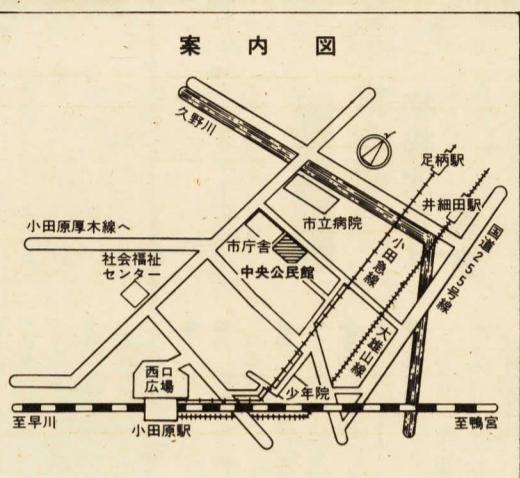
◆申込み 先着順

日 時	内 容	講 師
9/22(木) 13:00~ 15:30	オリエンテーション	市社会教育主事
9/30(金) 9:30~ 12:00	歴史上に見る女性像 —明治~昭和戦前期—	東京農工大学 教授 千野 陽一
10/6(木) 13:00~ 15:30	ある女性の一生 —聞き書きをもとに—	日本ことばの会 今川 徳子
10/13(木) 13:00~ 15:30	近代史における女性と人権	日本経済大学 教授 川村善二郎
10/20(木) 13:00~ 15:30	著者を囲んで 女性の生き方を考える	作家 吉武 雄子
10/27(木) 9:30~ 15:30	著書をもとに 女性の生き方を考える	市社会教育主事
11/10(木) 13:00~ 15:30	子育て以後の女性の生き方	金城学院大学 助教授 天野 正子
	これから女性の生き方に ついて考える	市社会教育主事



中央公民館フェスティバル

中央公民館では、九月十五日から一十四日までの十日間にわたり、中央公民館がオープンしてから二年余りたちました。この間、たくさんのグループ、サークル、彼らの利用団体の日ごろの活動を開催します。



女性の生き方を考える

婦人教養セミナーへどうぞ

女性のライフサイクルが大きく変化している時代ですが、そ

うい

く

な

問

題

を

踏

ま

え

な

が

そ

れ

に

は

こ

れ

ま

で

に

な

く

な

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

た

い

</div



民俗芸能の紹介⑤

奉射祭

今日は、小船の白髭神社に八百年前から伝わっている奉射祭を紹介します。奉射祭の行われる白髭神社は、かつての小船村、羽根尾村など中村郷の下の総鎮守で、元慶元年(八七七年)九月九日の建立と伝えられる古い神社です。江戸時代に書かれた「新編相模國風土記稿」によれば、伊勢の神官が諸国を巡っている途次、午前九時ごろ(昔は午前一時ごろ)狩衣を着た射手二人が白髭の神を見て、神体を彫刻し、社を建てたのが始まりとされています。奉射祭は、毎年一月七日に古式のものとて行われます。また、この行事は永年「流鏑馬」と呼ばれていましたが、これは同神社で古く行われていた馬と呼んでいたようです。

吉凶を占う神事と言われています。吉凶を占う神事と、その年の吉凶を占う神事とがありますが、白髭神社の奉射祭は、鎌倉時代初期に記された由緒録起書によつても、また祭事の形態によつてもその年の五穀豊穣の吉凶を占う神事と言われています。

水泳大会

定期検査を

○商取成や証明に使用する計量器

○農家で庭先取引(みかん、鶴卵等)に使用する計量器

○検査料金

○検査料金

○台指示ハカリ百。以下のもの

○台手動ハカリ三百。以下のもの

○台手動ハカリ二百円

○台手動ハカリ一百五十円(分銅を含む)

○棒ハカリ五十※以下のもの

○等比皿手動ハカリ二百五十円(分銅を含む)

○等比皿手動ハカリ三百五十円(分銅を含む)

○等比皿手動ハカリ二百五十円(分銅を含む)

